

小松市立松東中学校



(人形であいさつ)

「みなさんこんにちは、わたし、”えりな”えっちゃんって呼んでね」

「わたしはえりなのママです」

「僕はまもるです。みんなを危険から守るために松東星からやってきました！」

「今日は、みんなと一緒に地震が起きたときどうしたらよいか、お勉強しようと思います。よろしくね」

「それでは、紙芝居の始まり始まり～」



えっちゃんは、ママと一緒に台所でおやつのだーナツを作っていました。

「ママ、ドーナツまだあ？」

「今から油であげるから、気をつけてね」

「はい！じゃあママわたしお皿だすね」

「じゃあ。おねがいね」

ママがえっちゃんにそう言ったとき



ゆらゆらゆら・・・突然はげしく地面がゆれました。

「ママ！こわーい！！」

えっちゃんはさげびました。地震は知っていたけれど、いつもよりとっとも大きな地震だったのです。

「どこにかくれよう？」

えっちゃんは困りました。

そこでクイズです。

台所で地震にあったらみんなはどこにかくれますか？

<答えを待つ>

はい！答えは テーブルの下です。

小松市立松東中学校



「えっちゃん！早くテーブルの下に隠れて！」
(えっちゃん人形テーブルの下に隠れる)
えっちゃんはテーブルのしたに隠れて、心配になってママを見ました。ママはドーナツを揚げていたフライパンの火をすぐに消しました。そして、こんろから離れて、えっちゃんと一緒にテーブルの下に隠れました。
(ママ人形、テーブルの下に隠れる)
「えっちゃん。大丈夫？」
ママはえっちゃんに優しく声をかけました。
「うん。だいじょうぶ」
えっちゃんはママがいてすごくほっとしました。



地震がおさまリ、えっちゃんとママはドーナツを作りました。できあがったドーナツを食べながら、地震について話をしました。
(えっちゃん・ママ人形ドーナツを食べる)



「こわかったね。ママ」
「そうね。地震が起きたとき、台所はとても危ないのよ。
火を使っていることが多いでしょう」
「火事になっちゃう！」
「地震が起きたときは無理に火を消さずに、まず安全なところに隠れるのよ」



「テーブルの下ね」
「そう。そして地震がおさまって様子を見て、火がでいたら消すほうがいいのよ」
「おうちには消火器がおいてあるよね」

小松市立松東中学校



クイズです。
えっちゃんのお家の台所に消火器はあるでしょうか？
どこにありますか？探してください。
(指で指してもらおう)
はい！みんな見つけられましたか？
みんなのお家には消火器はありますか？お家の人に
聞いてみてくださいね。



「お家には他にもたくさん非常用のものが用意してある
のよ」
「教えてママ！どんなもの？」
「まもるくん！えっちゃんと〇〇幼稚園のみんなに
いろいろ教えてもらえるかしら」



「任せてください」
地震がおきたらどうするの？



「地震がおきたら、まず、安全なところにかくれます」

小松市立松東中学校



「ゆれがおさまったら、逃げ道のためのドアを開け、火を消します」



「頭には頭巾をかぶり、ガラスなどで足にけがをしないようにスリッパなどを履きましょう」



準備するもの
「家においておく道具など」



「お金！」

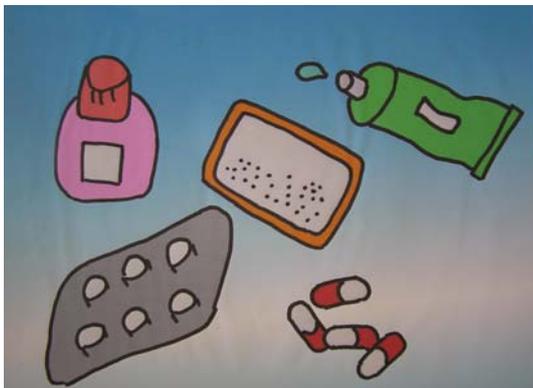
小松市立松東中学校



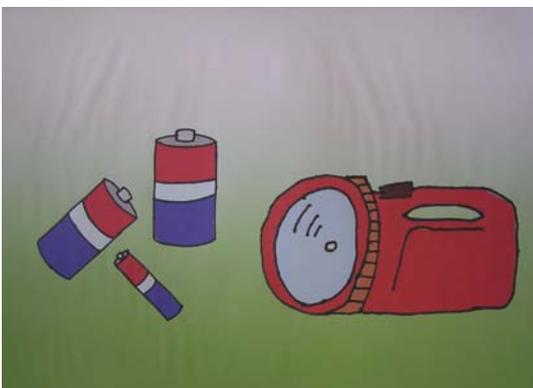
「保険証・貯金通帳・携帯電話」



「洋服・軍手・ヘルメット」



「くすりなど日常に必要なもの」



「懐中電灯・電池」

小松市立松東中学校



「食べ物として クッキーや水・かんづめなど」
「みんなの家にはこのようなものを用意してありますか？」
「お家に帰って大人の人に聞いてみてください」
「それでは最後におさらいのクイズです」



「地震がおきたら、自分のおもちゃをたくさんもって逃げる
○か×か」
「正解は×です。まず、安全なところに行きます」
「地震がおきたら、頭を守るために頭巾をかぶる。
○か×か」
「正解は○です。頭をけがしないようにヘルメットや頭巾
をかぶりましょう」
「地震がおきたとき、フライパンの油に火がついたら、
すぐに水をかける。 ○か×か」
「正解は×です。水を入れると危険なので大人の人に
任せましょう」
「消防車を呼ぶ電話番号は119である。 ○か×か」
「正解は○です。消防車を呼ぶときは119番です」
「テレビゲームをしている時なら、地震がおきても続けて
遊んでいてもよい。 ○か×か」
「正解は×です。危ないことが多いので、ゲームをやめ
大人の人に言うことを聞きましょう」
これで、クイズを終わります。
みなさん。ありがとうございました。さようなら。」